7/9 朝-夕刊

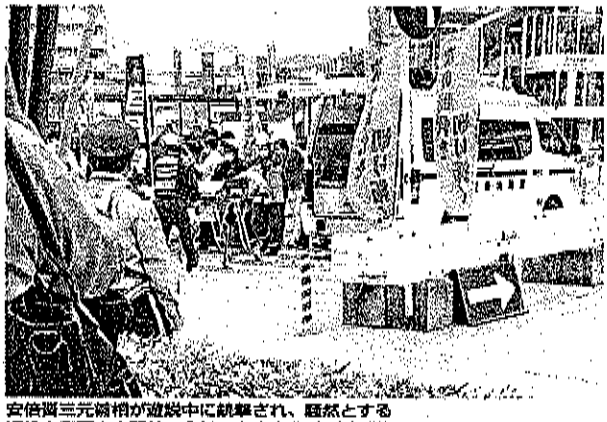
安倍元首相 銃撃され死亡

演説中、背後から2発

奈良 元海自隊員の容疑者逮捕

8日午前11時半ごろ、奈良市の近鉄大和西大寺駅前で、演説中だった自民党の安倍晋三元首相（67）が銃撃されました。安倍氏は首と胸付近から血を流し、心肺停止の状態で病院に搬送されましたが、午後5時3分に死亡が確認されました。発砲したとみられる男は現場で取り押さえられ、県警は殺人未遂容疑で現行犯逮捕しました。日本共産党の志位和夫委員長は同日、事件直後の会見で、「テロによる言論の封殺は民主主義に対する挑戦であり断じて許すわけにいかない」として、「この蛮行を心からの憤りをもって糾弾したい」と述べました。

↓関連2面



安倍晋三元首相が遊説中に銃撃され、騒然とする近鉄大和西大寺駅前＝8日、奈良市（目撃者提供）

安倍元首相

県警によると、男は奈良市の職業不詳山上哲也容疑者（41）。「安倍元首相への政治信条への恨みでやった わけではない」と話しているといいます。県警は同日午後、山上容疑者の自宅を捜索しました。今後詳しい動機などを調べます。

防衛省関係者によると、山上容疑者は2005年ごろから約3年間、海上自衛隊に勤務。配属された部隊では機関銃の射撃訓練も受けていました。捜査関係者によると、山上容疑者は容疑を認め、「安倍元首相を狙った」とも話しています。

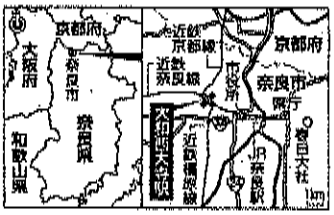
県警などによると、安倍氏は銃撃当時、駅の北口ロータリーで演説中でした。首の右側と左鎖骨付近から出血し、ドクターヘリで奈良県立医科大付属病院に搬送。搬送時、既に意識はなかったといいます。同病院は会見で、銃弾などに銃創があり、心臓および大血管の損傷で心臓が停止したと説明しました。

山上容疑者は安倍氏の背後から2発発砲した可能性があります。使われたのは手製の銃とみられ、県警が現場で押収しました。

安倍氏は同日、参院選奈良選挙区の自民公認候補を応援するため、奈良市に入っていました。

岸田文雄首相は首相官邸で記者団に、「民主主義の根幹である選挙が行われている中で起きた卑劣な蛮行すものです。

一、私は、安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしておりましたが、同年に生まれ、当選も同期で、同時代を生きたものとして、そのご逝去は、とてもさみしく、悲しい思いです。謹ねて深い哀悼の意を表するものです。



民主主義を破壊するテロに断固抗議する

志位委員長が談話

日本共産党の志位和夫委員長は8日、安倍晋三元首相が銃撃を受け、逝去したことについて、次の談話を発表しました。

一、安倍晋三元首相が、去されたことに、心からの哀悼の意を表します。回復を願っていただけに残念でなりません。

一、言論を暴力で封殺することは、民主主義を破壊する蛮行であり、強い憤りをもって断固糾弾します。とりわけ、選挙中という民主主義にとってきわめて重要な時期に、卑劣な蛮行が起きたことは、絶対に許すことのできないことです。

日本共産党は、言論の自由を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない社会をつくるために力をつくす。

一、政治的立場を異にしておりましたが、同年に生まれ、当選も同期で、同時代を生きたものとして、そのご逝去は、とてもさみしく、悲しい思いです。謹ねて深い哀悼の意を表するものです。

出血し、ドクターヘリで奈良県立医科大付属病院に搬送。搬送時、既に意識はなかったといいます。同病院は会見で、銃弾などに銃創があり、心臓および大血管の損傷で心臓が停止したと説明しました。

山上容疑者は安倍氏の背後から2発発砲した可能性があります。使われたのは手製の銃とみられ、県警が現場で押収しました。

安倍氏は同日、参院選奈良選挙区の自民公認候補を応援するため、奈良市に入っていました。

岸田文雄首相は首相官邸で記者団に、「民主主義の根幹である選挙が行われている中で起きた卑劣な蛮行で、決して許すことはできない」と述べました。

安倍氏は67歳。首相に2度就任し、在職期間は通算3188日。大規模金融緩和を柱とする経済政策「アベノミクス」の推進や、集団的自衛権の行使を認める安全保障法制を成立させました。1993年の衆院選に旧山口1区から自民党公認で初当選（当選10回）しました。

自由・公正な選挙に万全を

首相が指示

金子恭之総務相は8日、安倍晋三元首相が銃撃された事件を受け省内で記者団の取材に応じ、岸田文雄首相から、自由で公正な選挙が安全に行われるため万全を期すよう、自身と二之湯智国家公安委員長に指示があったと明らかにしました。総務省は選挙制度を所管しています。

その上で金子氏は、投票所や開票所での不測の事態に備え、警察を含めた関係機関への通報、連絡体制の確認などを行うよう、各選挙管理委員会に速やかに通知を発出する考えを示しました。